

前事業年度の事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 アース・エコ

1. 事業の成果

[事業の総括、特筆すべき事項]

- － 新型コロナウイルス感染症対策のため計画した事業の一部を中止したが、緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が解除された10月1日から1月20日の間に多くの事業を実施できた。
- － 新たに外部の2団体の活動にスタッフを派遣し、活動を支援した。
- － オンラインでの会議開催に加え、オンラインまたはビデオ配信による講座を開催したほか、啓発ビデオや実験ビデオを作成しホームページを通して一般公開した。

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 環境教育・環境学習に関する事業

- ・ 学校出前授業：(神奈川県派遣事業、横浜市環境出前講座、神奈川県立産業技術総合研究所、他) 小学校延べ11校で計12日、延べ21回出前授業を実施したほか、私立小学校教員対象の研修会および外部団体が実施する出前授業へ講師またはスタッフを派遣した。(前年度比8校増)
- ・ 環境教育出前講座フォローアップ
小学校1校で実施した。(前年度比増減なし)
- ・ 地域環境学習
横浜市緑区、港北区、青葉区、相模原市中央区の公共施設4会場で計4日環境学習を実施した。(前年度比4会場増)
- ・ その他の事業：(環境教育・環境学習受託実施及び派遣依頼)
公共施設で1日市民を対象に環境講座を実施したほか、公共団体から環境学習を受託しビデオ配信による講座を実施した。(前年度比2講座増)

② 普及啓発事業

1 イベントに参加し、オンラインによる環境学習を実施した。(前年度比1イベント増)

③ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

横浜市地球温暖化対策推進協議会、さがみはら地球温暖化対策協議会の活動に参加・協力した。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 環境教育・環境学習に関する事業

- ア 小・中・高等学校環境教育・環境学習授業：神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業出前授業
(7校：海老名市立有鹿小学校、葉山町立一色小学校、葉山町立上山口小学校、横浜市立田奈小学校、横浜市立新治小学校、相模原市立若草小学校、横浜市立あざみ野第一小学校。葉山町立葉山小学校、葉山町立長柄小学校、横浜市立長津田第二小学校の3校は感染症対策のため実施を中止した。)
- ・ 内容：地球温暖化対策環境教育(省エネ体験と省エネ実践)
 - ・ 日数：相模原市立有鹿小学校は2日に分けて実施、他は1日実施
 - ・ 場所：各校の体育館、多目的室、理科室等
 - ・ 実施者：各回5～7名、延べ47名
 - ・ 対象者：小学校4～6年児童、488名
 - ・ 備考：前年度比6校増

イ 小・中学校環境教育事業：横浜市環境創造局環境教育出前講座

(2校:横浜市立長津田第二小学校、横浜市立田奈小学校科学クラブ)

- ・内容 :地球温暖化対策環境教育(地球温暖化の学習、およびエネルギーに関連した工作)
- ・日数 :各校1日実施
- ・場所 :各校の多目的室、視聴覚室等
- ・実施者 :各回5~6名、延べ11名
- ・対象者 :小学校4~6年児童、108名
- ・備考 :前年度比1校増

ウ 小・中学校環境教育事業:神奈川県立産業技術総合研究所「なるほど! 体験出前教室」

(2校:川崎市立東菅小学校クラブ活動、横浜市立瀬谷さくら小学校。横須賀市立桜小学校は感染症対策のため実施を中止した。)

- ・内容 :地球温暖化対策環境教育(地球温暖化の学習、およびエネルギーに関連した工作)
- ・日数 :各校1日実施
- ・場所 :各校の理科室等
- ・実施者 :各回5~6名、延べ11名
- ・対象者 :小学校4~6年児童、103名
- ・備考 :前年度比1校増

エ その他の学校出前授業

(関東地区私学教員研修会への講師派遣、横浜 LCA 環境教育研究会およびずしし環境会議が実施する出前授業へスタッフ派遣)

- ・内容 :教員対象の研修会への講師派遣、および外部団体が実施する出前授業へのスタッフ派遣
- ・日数 :ずしし環境会議が実施する出前授業は3日、他は1日実施
- ・場所 :関東地区私学教員研修会はオンライン、他は各校の体育館、理科室等
- ・実施者 :各回2~3名、延べ11名
- ・対象者 :小学校教員約30名、および中学2~3年生徒約340名
- ・備考 :前年度比3回増

オ 学校教育支援事業

- ・内容 :横浜市立長津田第二小学校環境委員会の活動にオブザーバーとして参加。
電子メールにより委員会の取り組みを支援し、CO₂排出量削減の取り組みの成果を検証した。
- ・実施者 :1名
- ・対象者 :環境委員会児童約20名、担当教員
- ・備考 :前年度比増減なし

カ 地域環境学習

(横浜市藤が丘地区センター、横浜市長津田地区センター、横浜市菊名地区センター、相模原市立環境情報センター)

- ・内容 :エネルギー関連実験体験による省エネ意義の理解と実践行動へ導く環境教育・学習
- ・日数 :4会場で4日実施
- ・場所 :各施設の会議室等
- ・実施者 :各回5名、延べ20名
- ・対象者 :小学校児童とその保護者約100名

- ・備考 :前年度比4施設増

キ 環境教育・環境学習の受託実施及び講師派遣

(相模原市立橋本公民館。感染症対策のため厚木市役所から受託した講座は対面からビデオ配信に変更して実施した。)

- ・内容 :省エネ意義の理解と実践行動へ導く環境教育・学習
- ・日数 :1会場で1日実施
- ・場所 :公共施設の会議室
- ・実施者 :1名
- ・対象者 :公民館関係者約20名
- ・備考 :前年度比1施設増

② 普及啓発事業

ア 普及啓発イベント参加事業

(相模原市立環境情報センターNo CO2 November)

- ・内容 :オンラインによる工作教室
- ・日数 :1日実施
- ・場所 :オンライン
- ・実施者 :2名
- ・対象者 :小学生と保護者10組、20名
- ・備考 :前年度比1会場増

イ 普及啓発事業受託実施及び派遣依頼事業

- ・内容 :行政・自治体における環境イベント受託実施及び人材派遣
- ・結果 :実績なし
- ・備考 :前年度比増減なし

ウ ホームページ、メールマガジン等による普及啓発事業

- ・内容 :ホームページ、メールマガジンおよびFacebookページ等からの情報発信による普及啓発
- ・実施者 :1名
- ・結果 :
 - ホームページおよびFacebookページは活動状況に応じ適宜更新
 - メールマガジンを16回発行。配信先 会員23名、会員外61名
 - 相模原市立環境情報センターが発行する「環境情報センターNEWS」に寄稿

③ その他この法人の目的を達成するための事業

ア 横浜市地球温暖化対策推進協議会への参加

- ・内容 :地球温暖化対策の市民への普及啓発とその実施推進及び他団体との連携協力
- ・実施者 :1名
- ・備考 :総会、幹事会は電子メールおよびオンラインにより審議・議決

イ さがみはら地球温暖化対策協議会への参加

- ・内容 :環境学習、環境活動の実施推進及び他団体との連携協力
- ・日数 :調査研究部会8日(オンライン)、対策部会9日(オンライン)

- ・実施者 :2名
- ・備考 :総会は電子メールにより審議・議決

ウ その他の地域における地球温暖化対策事業への参加

- ・内容 :各地域の市民活動支援センター等の事業への参加、会員の活動への支援
- ・結果 :実績なし

エ 新規教材・プログラムの開発および整備作業

- ・内容 :環境教育・環境学習の為の新規教材・プログラムの開発、および整備
- ・結果 :
 - 地球温暖化に関する啓発ビデオ4本、省エネ実験の手順を解説するビデオ5本、ソーラーオルゴール工作の手順を解説するビデオ1本の計10本のYouTube動画を作成し、いずれもホームページから閲覧できるようにして一般公開した。
 - ハロウィンランタンをテーマとする工作を新規開発し、地域環境学習で実施した。

オ 助成事業・寄附金・表彰 応募実施事業

- ・内容 :行政・自治体・企業等における助成事業・寄附金、表彰に応募(応募規定による)
- ・結果 :横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」助成金を申請し助成を受け、省エネ実験の手順を解説するビデオ5本の制作に活用した。

カ インターンシップ学生受入

- ・内容 :大学のインターンシッププログラムに協力し、インターン学生を受け入れる。
- ・対象者 :大学及びインターン学生
- ・結果 :感染症対策のため大学においてインターンシップが実施されなかったため、実績なし。

キ 会員の自己研鑽支援事業

- ・内容 :研修旅行、勉強会、会員の自主研鑽によるスキルアップ等
- ・結果 :
 - 勉強会を対面で5回、オンラインで7回開催。毎回会員10~17名が出席し相互啓発をおこなった。
 - 研修旅行は実施しなかった。
- ・備考 勉強会は神奈川県環境学習リーダー会エネルギー部会と共同開催

以上

前事業年度の活動計算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 アース・エコ	
単位:円			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	66,000		
賛助会員受取会費	0	66,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	134,859	134,859	
3 受取助成金等			
受取助成金	35,000	35,000	
4 事業収益			
事業収益	417,801	417,801	
5 その他収益			
受取利息	30	30	
経常収益計			653,690
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
福利厚生費	63,700		
人件費計	63,700		
(2)その他経費			
運送通信費	75,000		
交通費	113,670		
消耗品費	122,002		
事務用品費	52,440		
諸会費	7,000		
賃借料	11,078		
雑費	1,449		
その他経費計	382,639		
事業費計		446,339	
2 管理費			
(1)人件費			
福利厚生費	9,100		
人件費計	9,100		
(2)その他経費			
租税公課	0		
運送通信費	7,560		
交通費	19,908		
消耗品費	2,332		
事務用品費	590		
地代家賃	76,680		
保険料	1,400		
賃借料	43,238		
諸会費	22,110		
雑費	220		
その他経費計	174,038		
管理費計		183,138	
経常費用計			629,477
当期正味財産増減額			24,213
前期繰越正味財産額			2,084,610
次期繰越正味財産額			2,108,823

貸借対照表
(特定非営利活動に係る事業会計)

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人アース・エコ		
	単位:円		
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,118,613		
売掛金	0		
前払費用	2,600		
流動資産合計		2,121,213	
2 固定資産			
器具備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,121,213
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	6,390		
前受金	6,000		
流動負債合計		12,390	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			12,390
III 正味財産の部			
正味財産			2,108,823
(当期正味財産増加額)			0
負債及び正味財産合計			2,121,213

財産目録

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人アース・エコ		
科 目	金 額		
	単位:円		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金 現金手許有高	71,969		
普通預金	943,882		
定期預金	1,102,762		
売掛金	0		
前払費用	2,600		
流動資産合計		2,121,213	
2 固定資産			
器具備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,121,213
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	6,390		
前受金	6,000		
流動負債合計		12,390	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			12,390
III 正味財産の部			
正味財産			2,108,823